

市民防犯インストラクター武田信彦

市民防犯の底力 1

市民防犯が目指すのは、安全な環境づくり！

一般市民ができる防犯

市民防犯とは「一般市民ができる防犯」の意味です。地域における市民防犯が目指すことは…

- ①犯罪が起きにくい環境づくり
- ②助け合いの環境づくり

ここでいう環境づくりとは、人と人とが緩やかにつながり合うような環境の中で、安全を生み出していく底力のことです。

その実践の形が、笑顔とあいさつを大切にする「見守り」なのです。

市民防犯



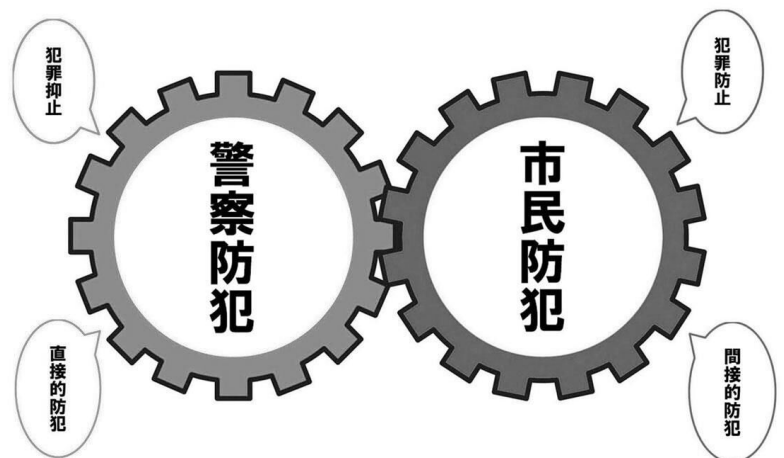
- ①犯罪が起きにくい環境づくり
- ②助け合いの環境づくり



笑顔とあいさつの見守り

治安維持のパートナー

私は、警察による防犯を「警察防犯」と呼んでいます。警察防犯の大きな役割は、犯罪や非行と直接対峙する「犯罪抑止」＝力や権限を行使する強い防犯です。一方の市民防犯は、「犯罪防止」＝犯罪が起きにくい環境づくりを目指します。犯罪や非行と直接対峙しないので間接的防犯とも呼んでいます。両者は、地域の治安維持のパートナーと位置づけられています。



地域の安全を守る協働と連携

地域の防犯は、市民防犯だけが担うものではありません。地域住民と、警察や自治体、教育委員会等の関係機関との連携・協働が欠かせません。

連携・協働の力を効果的に発揮するためには、それぞれの「得意技」＝できること、できないことを知ることが重要です。

とくに、地域住民と連携・協働・支援を行う関係機関の皆さんは、市民防犯の正しい理解が不可欠です。



市民防犯の底力 2



市民防犯インストラクター武田信彦

姿を見せることで高まる、防犯効果！

存在そのものが防犯効果を生み出す！

市民防犯の防犯効果を最も高める方法が、「姿を見せる」です。とくに、子どもを狙う犯罪など、人がいると悪意・犯意を出しにくくなるタイプの犯罪を防止する効果が期待できます。

市民防犯は、犯罪や非行と戦う活動ではありません。厳しい目で地域を監視する活動ではありません。地域や子どもたちへ目を向けて、優しい気持ちで見守りを行う防犯活動です。



安全第一で取り組もう！

カラフルなユニフォームは、「姿を見せる効果」を高めることにつながります。

また、警察や自治体、学校やPTA等から地域の情報を得るとパトロールのコースを決める際に役立ちます。

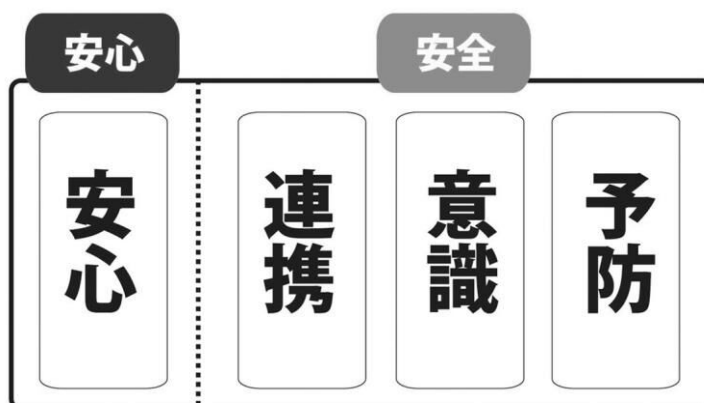
通学路の見守りを行う際は、十字路の角などで行うと効果的です。その際、背中側を埋めて安全を確保しましょう。

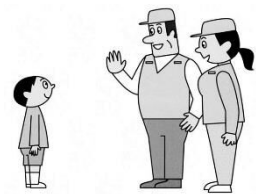
仲間がいる際は、対角に立っていただくと、①お互いの安全確認、②見守りも行いやすくなり、さらに、③全方位に対して「姿を見せる効果」を広げることができます。



市民防犯が生み出す効果

①予防の効果：姿を見せることで犯罪が起きにくい環境を生み出します。②意識を高める効果：防犯啓発を行うことで、犯罪に対する免疫力を高めることができます。③連携が育まれる効果：警察・自治体等の関係機関、学校・PTA、関係団体等とのつながりが生まれます。④安心が広がる効果：笑顔とあいさつを大切にする市民防犯は、安全のみならず、安心の輪を広げる効果も大きいのです！





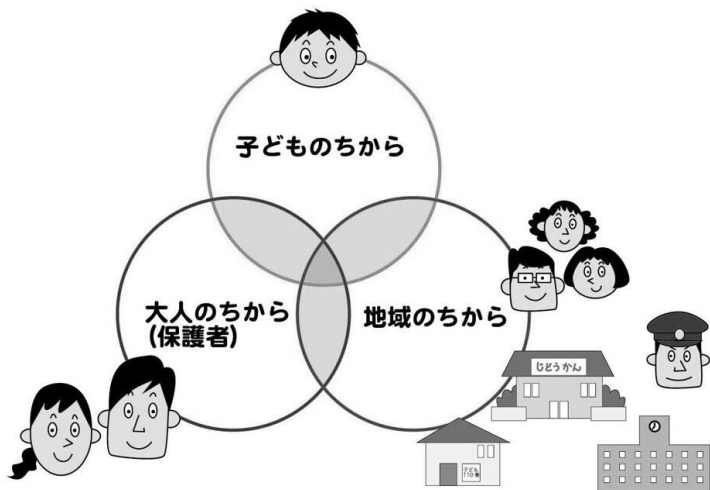
市民防犯の底力 3

市民防犯インストラクター武田信彦

子どもたちの安全を守るために！

子どもを守る3つの防犯力

子どもだけになりやすい環境の中で、子どもたちの安全を守るためには、①地域の皆様の見守り、可能な範囲での②保護者の皆様の付き添い、さらに、③子ども自身の防犯力が欠かせません。子どもたち自身も「ひとりにならない」振る舞い方や道選びをすることで、地域、保護者による防犯活動と子どもの防犯力が重なり合います。みんなで取り組むことが重要なのです！



見守りが生み出す大きな可能性

姿を見せることを意識する、さらに、地域の人々や子どもたちへ笑顔やあいさつの見守りを行うことが、地域の市民防犯の最大の効果を生み出します。それは、防犯効果のみならず、子どもたちへの大きなメッセージにもなっています。地域の皆様の取り組みと出会うことで、見守り・助け合いの大切さを学ぶきっかけになっているからです。そのバトンは、学生防犯ボランティア等へ受け継がれています。



優しい気持ち、笑顔、あいさつ大切に！

子どもの見守り時に注意すべきこと

とくに子どもの見守りを行う際は、注意するべきこともあります。

①過度な接触をしない、②飲食物をあげない、③私有地や車に入れない（保護する際をのぞく）。防犯活動を行う皆さんの善意が誤解されないことが重要です。さらに、悪意・犯意ある者が防犯活動を悪用して犯罪を実行することを防がなければいけません。

過度な接触はしない

飲食物をあげない

私有地や車に入れない



市民防犯インストラクター武田信彦

市民防犯の底力 4

地域防犯力の向上を目指して！

多様な防犯力を元気にしよう！

地域防犯力を元気にするためには、いくつかのアプローチが必要です。

- ①既存の防犯力の活性化。すでに活躍している皆様をしっかりサポートします。
- ②潜在的な防犯力の掘り起こし。関心がある人たちが参加しやすい「きっかけ」づくりも急務です。
- ③新しい防犯力の創出。地域の企業とのコラボ、最新技術の導入、斬新なアイディアの採用など、これからの防犯を形作る要素を探し続けることも、地域防犯の存続に欠かせないことです。

▶ 既存の防犯力の活性化！

▶ 潜在的な防犯力の掘り起こし！

▶ 新しい防犯力の創出！



広がる防犯活動のスタイル

防犯活動のスタイルも多様化しています。「ながら見守り」は、農作業や庭仕事、買い物やお出かけ、ウォーキングや愛犬の散歩、ジョギングの際などに地域や子どもたちへ目を向ける、意識を向けるような防犯活動です。生活の中で無理なく取り組むことができます。

「姿を見せること」「目や意識を向けること」が地域の安全を守る底力となるのです。



市民防犯は可能性が大きい！

優しさが出し合えるような、防犯を。コミュニケーションが生まれるような、防犯を。そして、人と人とがつながり合えるような、防犯を。それが市民防犯の大きな強みです！防犯以外の社会課題にも、見守り・助け合いは底力となるはずです。

笑顔とあいさつを大切に

人と人とがつながり合える防犯活動を！



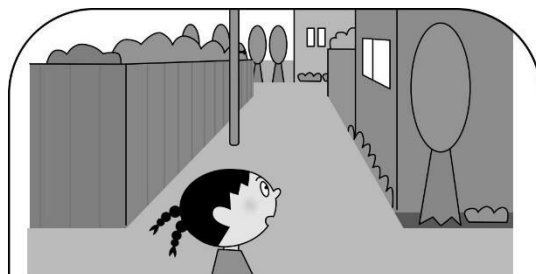


子どもの防犯 1

市民防犯インストラクター武田信彦

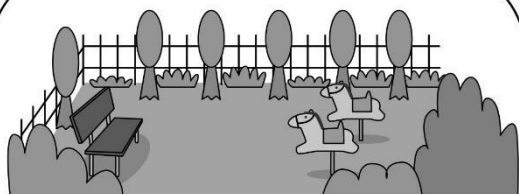
子どもだけになる「瞬間」に注意！

子どもの行動範囲で「ひとりになる瞬間」は、犯罪被害リスクが高まりやすいので注意が必要です。通学路や公共空間のみならず、集合住宅の敷地・共用部分、自宅の玄関周りなど「自宅周辺」でも十分注意してください。特定の場所ではなく、ひとりになる瞬間に着目して防犯対策を行いましょう。



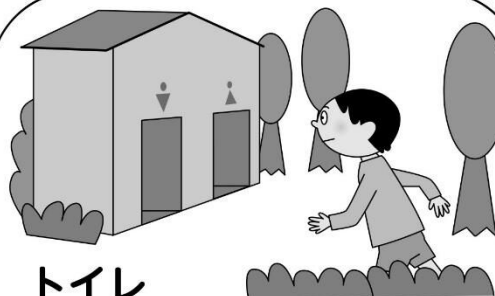
みち

ひとがいないみちをあるくとき



こうえん

ともだちがいないとき、
まわりからみえないところにいるとき



トイレ

ひとりでトイレへいくとき



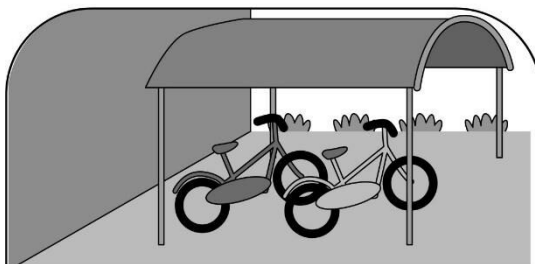
ちゅうしゃじょう

ひとがのっているくるまのちかくを
あるくとき



スーパーマーケット・ ショッピングセンター

おうちのひとのちかくからはなれたとき



じてんしゃおきば

じてんしゃおきばのなかにはいるとき



いえのちかく

ひとりでうちにかえってきたとき



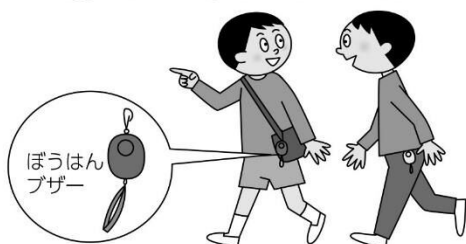
市民防犯インストラクター武田信彦

子どもの防犯 2

子どもがもつ防犯力を高めよう！

子どもの防犯力は、家庭や学校で育んだ「生きる力」そのものです。
分かりやすい言葉で日頃から繰り返し確認しましょう。

①ひとりにならない



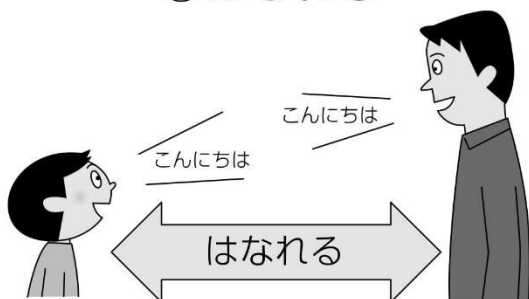
そとでは、なるべくひとりにならない
ように、おうちのひとや ともだちと
いっしょにあるきましょう!

②よくみる、よくきく



もし、ひとりに
なったら、
まわりをよくみて、
まわりのおとを
よくきいて、
ちゅういしましょう!

③はなれる



ひとと あいさつをするときは、てが
とどかない きよりに はなれましょう!

④ことわる



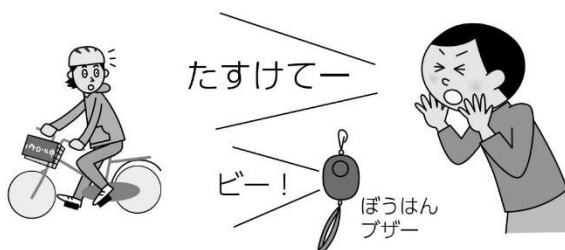
もし、おねがいごとを
されたり、さそわれたりしたら、
はっきり ことわりましょう!

⑤にげる



こわい!いやだ!と かんじたら、
たすけてくれるひとが いるところへ
にげましょう!

⑥つたえる



こわいこと、きけんなことを かんじ
たら、まわりのひとに たすけてを
つたえましょう!

家族で!

地域で!

みんなで守ろう!子供の安全!

~犯罪などの実態を知って、自分を守る力を身につけよう~



警察庁

National Police Agency

子供だけになりやすい状況では、いつも以上に注意が必要です！

次に示すような犯罪などの実態をヒントにして、お子さんと一緒に、普段から行動する範囲に似たような場所があるか、考えてみましょう。

① 道路

人通りや人の目が少ない路上で下校時や公園からの帰宅時に声をかけられた事例があります。

■ 大通りから一本入った住宅地 ■ 片側が田畑



早朝や夕方の時間帯は歩行者が少ないことから、特に注意しましょう。

予防策

一人で歩く時は、急に近づいてくる人に気をつけて歩く

② 駐車場・駐輪場

スーパーやコンビニなどが営業する夜の早い時間帯に、駐車場に面する歩道で声をかけられた事例があります。

■ 車内でまちぶせ

■ 駐輪場



犯罪を計画する者が、車中で待機するなど、駐車場・駐輪場を利用しつつ対象を物色している可能性があります。

予防策

「車で送ってあげる」と言われたら断って逃げる

③ 公園

公園内の遊具や木の陰といった見通しの悪い場所で、被害に遭った事例があります。

■ 遊具の影

■ 見通しの悪い木陰



植栽や塀で見通しの悪い公園では、子供たちが複数人で遊んでいても注意が必要です。

予防策

公園では見通しの悪い場所で遊ばない

④ 集合住宅の共用部分

道路上から住人のふりをして後をつけてきた人によって共用玄関や廊下で被害に遭った事例があります。

■ 共用玄関

■ 階段



このほか、廊下やエレベーターなども、自宅のすぐ近くなので気がゆるみがちですが、外から見えにくい構造の場合には、注意が必要です。

予防策

後ろからついてくる人がいないか気をつける

子供の安全は、警察と地域社会、 お子さんの家族がみんなで守るもの

子供を犯罪から守るためには、家族や地域の方々の見守り、助け合いの意識を広げるとともに、犯罪などの実態を知った上で、自分を守る力を身につけていくことが大切です。



どんな事件が
起きているの？

どんなことが？

- 体を触られる
- 声をかけられてどこかに連れ去られる
- 嫌なことを言われたり、つきまとわれたりする など



いつ？

- 学校からの帰宅時間帯は危険が多い時間帯
- 学童保育からの帰宅や帰宅後の塾や習い事への行き帰りの際にも注意が必要
- クラブ活動などで、他の児童・生徒よりも朝早い時間帯に通学する際にも油断は禁物

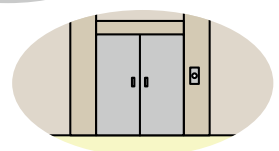
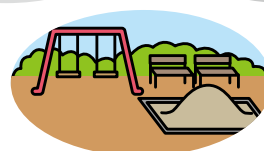
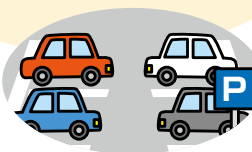
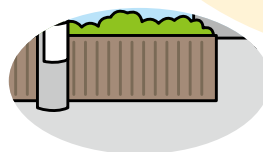
このほかにも、休日に子供だけで外出するときなどに注意が必要



どこで？

- 道路
- 駐車場・駐輪場
- 公園
- マンションやアパートなどの共用玄関や廊下、階段、エレベーター

など、子供だけに
なりやすいような場所

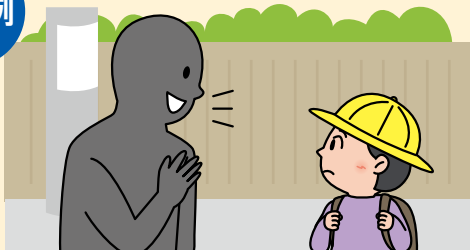


子供たちが狙われる事例を知り とっさの行動を取れるようにしましょう!

犯人は学校の行き帰り、公園、家の近くなどで、大切な子供たちを狙っています。具体的な事例と対応策をよく読んで、とっさの行動を取れるようにしましょう。

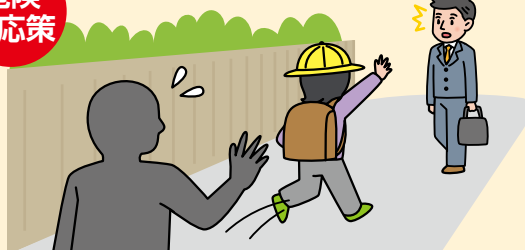
① 道路

事 例



自宅近くの道路を歩いていると、
「お菓子をあげるからおいで」
と声をかけられた。

危険 対応策



「いりません」ときっぱり断る。
それでも近づいて来たら、体をつかまれないように
逃げるか、近くにいる大人に助けを求める。

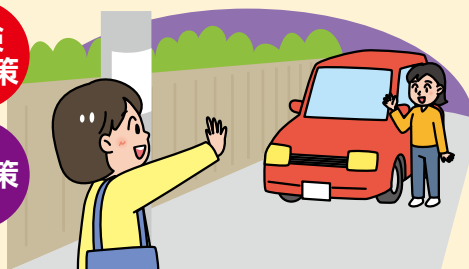
事 例



塾から帰る薄暗い道で、
「〇〇ですが、ちょっと一緒に来てくれませんか?」
と言われた。

危険 対応策

予防策



「おうちの人に聞いてからにします」ときっぱり断る。
また、夜遅い時間帯の帰宅は、
途中まで迎えに行くようにする。

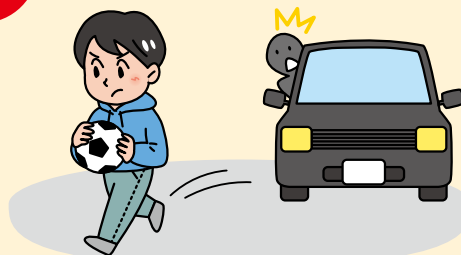
② 駐車場・駐輪場

事 例



友達の家からの帰り道で、駐車場の車の中にいる人から
「面白いゲームがあるから車に乗らない?」
と声をかけられた。

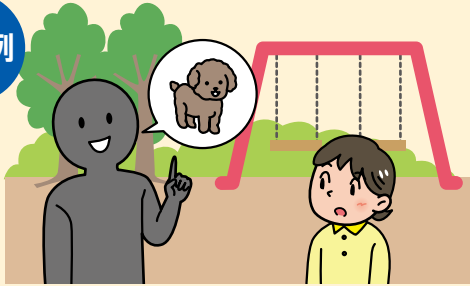
危険 対応策



「行きません」ときっぱり断る。それでも近づいて来たら、
体をつかまれないように逃げるか、
近くにいる大人に助けを求める。

③ 公園

事例



一人で遊んでいると
「かわいい犬がいるから見にいかない?」
と誘われた。

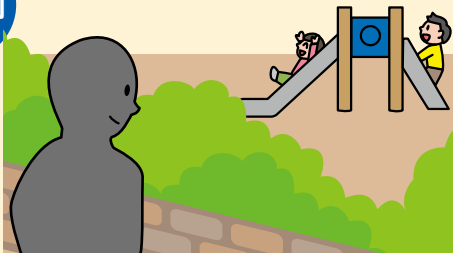
危険 対応策

予防策



誘われたら「いやです」「行きません」と断る。
また、大人やお友達と一緒に行くなど、
子供一人で公園で遊ばせないようにする。

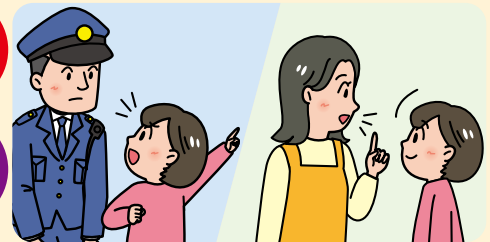
事例



植木が生い茂っている公園の隅を、
うろろうし、子供を物色している人がいた。

危険 対応策

予防策



公園で見たことを警察に相談する。
また、公園で遊ぶ時には、
一人で人目につきにくいところに行かないように
子供に言い聞かせる。

④ 集合住宅共用部分

事例



集合住宅の共用玄関に入った時に、
後ろからついてきた人に
エレベーター前で体を触られた。

予防策



共用玄関に入る前にまわりを見回して、
ついてくる人がいないか気をつける。

事例



マンションの階段で「この団地に住んでいる
〇〇さんを知らない?」と声をかけられた。

危険 対応策



見知らぬ人から声をかけられたら「知りません」と答え、
すぐにその場所を離れる。それでもついて来たら、
迷わず防犯ブザーを鳴らして、住んでいる人に危険を知らせる。

こ
お子さんと
いっしょ
一緒に

ひ 日ごろどのように行動しているか、 こうどう チェックしてみましょう!

☐ ひとりにならない

そと
外ではなるべくひとりにならず、
うちの人やともだちのようにしましょう。



☐ ひとりでいるときは、人どおりが多い道や みせ お店がある道を歩く

うし
後ろからついてくる人や急に近づいてくる人がいないか
いじょう
いつも以上に気をつける。



☐ 声をかけられ、変だと思ったらきっぱり断る

ちか
近づいてきたら、体を触られないようにすぐ逃げる。



☐ 人に誘われてもついていかない、車にはのらない

くるま
「車でおくってあげる」と言われても、ぜったいに
くるま
車にのってはいけません。



☐ こわいと思ったら、大声を出したり ぼうはん 防犯ブザーを使っておとなの人に知らせる

うちの人や学校の先生に、何があったか知らせましょう。



☐ 外にでかけるときは、おうちに帰る時間を言う

どこで誰と遊ぶのか、おうちに帰る時間はいつなのか、
うちの人につたえましょう。



もしもの
ときは...

被害にあった場合や、子供に声をかけて連れて行こうとしているなどの場面を見かけた方は、迷わず110番してください。110番をするほどでもないけれど、不安に思った場合には、警察相談専用ダイヤル「#9110」にお電話ください。最寄りの警察署や交番でも、相談を受け付けます。

身につけよう、防犯力！ 【1】

市民防犯インストラクター武田信彦（ヨッシー）

闇バイト

SNSに関わる犯罪

突発的な暴力

性犯罪

盗撮

自転車盗

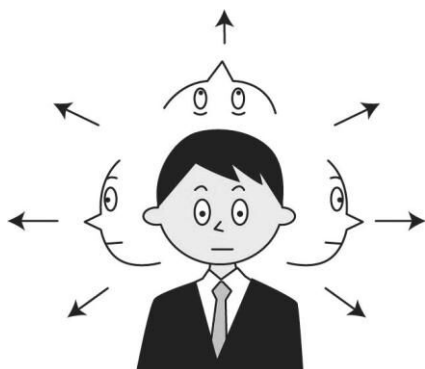


犯罪は、いつ・どこで発生するのか分かりません。私達の周りで、どのような犯罪リスクがあるのかを知り、自分を守るための防犯力を発揮しましょう。

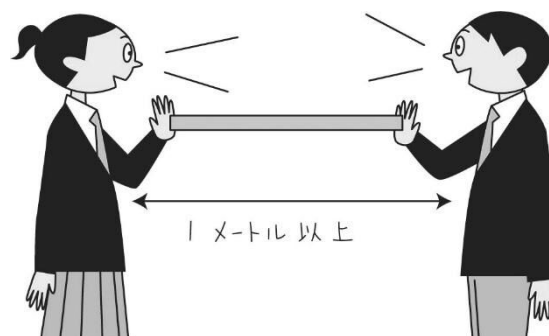
身を守る ≠ 暴力



自分を守る防犯力と“暴力”は違います。正当防衛＝やっつけてもよい…という意味ではありません。過剰な行為は、加害者としてのリスクを招くことがあります。



防犯力の基礎といえる力は、**観察力**です。前後左右へ目線や意識を向けることで、危険を察知しやすくなる、悪意や犯罪にコントロールされにくくなるバリア効果が生れます。



人との**身体的な距離感**は大切な防犯力です。人から触られない、つかまれないためには約1m程度の長さを保ちましょう。



危険な状況からは、**逃げるが勝ち！**です。声を出す、防犯ブザーを鳴らすなどして、助けてくれる人がいる所まですぐに逃げましょう。



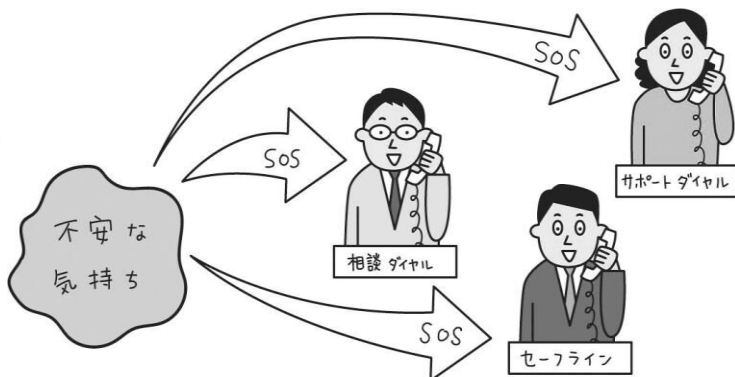
防犯力には**心理的な距離感**も必要です。違和感をおぼえる誘いやお願い事などは、きっぱり断りましょう。

身につけよう、防犯力！ 【2】

市民防犯インストラクター武田信彦（ヨッシー）



助けをもとめる、相談をすることも防犯です。
危険と直面した場合やピンチのときは、ためらわずに周囲へSOSを伝えてください！



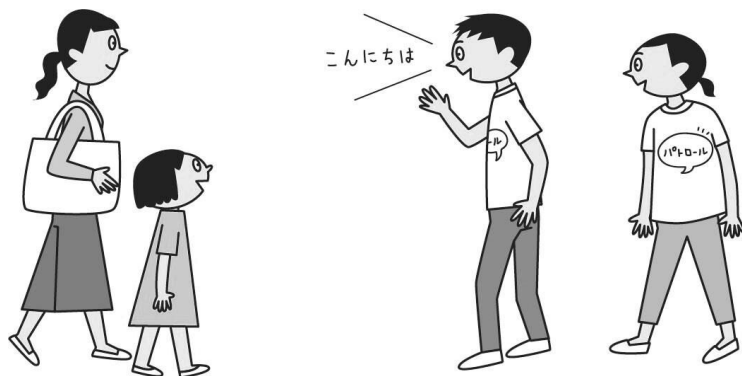
周囲へ相談しにくい場合は、専門の機関へ相談することができます。電話やオンラインでも相談できるので、ぜひ覚えておいてくださいね。



犯罪に巻き込まれないことも防犯です。
友人や知り合いでも、違和感をおぼえる誘いやお願い事をされたら、キッパリ断りましょう！



インターネット上では、瞬時に**被害者／加害者**になってしまうリスクがあります。
くれぐれも慎重な判断・発信がもとめられます。



通学路等の屋外で起きる犯罪の多くが「ひとりになる瞬間」で発生します。そのため、地域住民等による**見守り・助け合い**は大きな防犯力となるのです。
皆さんの存在も、誰かを守る力になり得ます。
外を歩く際は“歩きスマホ”をせずに、ぜひ周囲へ目を向けてみましょう。
自分を守る防犯力アップ、周囲の人たちや地域を守るための防犯力アップにつながります！

